

科目名	学外実習			授業の種類	実習	講師名		
授業回数	68回	時間数	135時間 (3単位)	配当学年・時期	整形靴科2年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
整形靴技術者として就職するにあたり、現場での経験を持つことは不可欠である。そこで、整形靴技術者としての職業意識の涵養、現場での製作経験、様々な知識の吸収、職場でのコミュニケーション能力の獲得を目的に、各自が靴の製作現場で実習を行う。								
〔授業全体の内容の概要〕								
各自が実習先を選択し、その現場での実習を行う。実習先の活動内容については、レポートにまとめる。また、そのレポートを元に実習での製作経験や様々な製作方法についてまとめ、全体の前でプレゼンテーションする。								
〔講師の実務経験〕								
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕								
様々な製作経験を積み、それを校内での製作に応用できる。職場での円滑なコミュニケーションをとり、職業意識を身につけることができる。実習先での経験をレポートにまとめることができる。実習先での製作経験をまとめ、全体の前でプレゼンテーションすることができる。								
回数	講義内容							
1	各自が企業での実習							
2	各自が企業での実習							
3	各自が企業での実習							
4	各自が企業での実習							
5	各自が企業での実習							
6	各自が企業での実習							
7	各自が企業での実習							
8	各自が企業での実習							
9	各自が企業での実習							
10	各自が企業での実習							
11	各自が企業での実習							
12	各自が企業での実習							
13	各自が企業での実習							
14	各自が企業での実習							
15	各自が企業での実習							
16	各自が企業での実習							
17	各自が企業での実習							
18	各自が企業での実習							
19	各自が企業での実習							
20	各自が企業での実習							
21	各自が企業での実習							
22	各自が企業での実習							
23	各自が企業での実習							
24	各自が企業での実習							
25	各自が企業での実習							
26	各自が企業での実習							
27	各自が企業での実習							
28	各自が企業での実習							
29	各自が企業での実習							
30	各自が企業での実習							
31	各自が企業での実習							
32	各自が企業での実習							
33	各自が企業での実習							
34	各自が企業での実習							
35	各自が企業での実習							

## 2019 年度

## 授業概要

科目名	学外実習			授業の種類	実習	講師名		
授業回数	68回	時間数	135時間 (3単位)	配当学年・時期	整形靴科2年		必修・選択	必修
回数	講義内容							
36	各自が企業での実習							
37	各自が企業での実習							
38	各自が企業での実習							
39	各自が企業での実習							
40	各自が企業での実習							
41	各自が企業での実習							
42	各自が企業での実習							
43	各自が企業での実習							
44	各自が企業での実習							
45	各自が企業での実習							
46	各自が企業での実習							
47	各自が企業での実習							
48	各自が企業での実習							
49	各自が企業での実習							
50	各自が企業での実習							
51	各自が企業での実習							
52	各自が企業での実習							
53	各自が企業での実習							
54	各自が企業での実習							
55	各自が企業での実習							
56	各自が企業での実習							
57	各自が企業での実習							
58	各自が企業での実習							
59	各自が企業での実習							
60	各自が企業での実習							
61	各自が企業での実習							
62	各自が企業での実習							
63	各自が企業での実習							
64	各自が企業での実習							
65	各自が企業での実習							
66	各自が企業での実習							
67	各自が企業での実習							
68	各自が企業での実習							
【 準備学習・時間外学習 】								
【 使用テキスト 】								
書籍名			著者名			出版社		
【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】								
実習先からの評価+実習報告書+テクニカルレポート+学外実習報告会でのプレゼンテーションで評価								